

回答については、質問時の基準に沿って回答しておりますので、現時点とは異なっている場合もございます。

Q - 5 8 (HBV)

B型肝炎ウイルスの感染予防について。

当院に入院中のB型肝炎ウイルス感染症者（肝硬変あり）が口腔内出血を起こし、食器への血液汚染が続いています。現在、ディスポーザブルの食器で対応しておりますが、食器を消毒し（通常は90 で乾式加熱しております。）再利用することが可能なのか、特別な消毒法が必要なのか等、感染対策をご教示下さい。

A - 5 8

食器への血液汚染が実際にあるのであれば、現在行われているディスポーザブル食器を使用する対応が最も良いかと思えます。御質問の食器の再利用に関しては、90 の乾式加熱消毒でウイルスの不活化という点では問題はないかと思えます。通常行われている食器の洗浄や消毒過程は各種ウイルスの不活化を想定して処理されているため、それに従うことで感染性をなくすという点では目的を達するものと考えております。

さて、食器を再利用する場合がございますが、問題となるのはむしろ血液が付着した食器を扱う、医療関係者や厨房関係者に対する院内感染対策かと思えます。血液の付着した食器は直接素手では触らない（手袋を使用することの確認です。勿論B型肝炎ウイルスに限らず、スタンダードプリコーションとしての血液に対しての対処法の確認ということにもなります。さらに、明らかに血液が目に見えて付着していれば、0.5%程度（やや通常の清拭用に用いる場合よりは濃度を高めに設定）の次亜塩素酸ナトリウムを消毒液として清拭したのち、病棟から厨房に返すようにすると良いでしょう。

最後に、教科書的に示されているHBVの不活化条件としては、98 ~ 100（煮沸）、2分となっております。90 の乾式加熱の時間を存じ上げないのですが、ウイルスを不活化するのに十分な時間が設定されているものと思えます。

総合的に判断すれば、ディスポーザブルの方が、格別の理由がなければ、対応しやすいと思えます。

回答については、質問時の基準に沿って回答しておりますので、現時点とは異なっている場合もございます。

Q - 59 (HBV、老人保健施設における対応、胸部レントゲン)

1. 当施設に従事する者を対象に、毎年HBワクチン(HBV抗体-の人)を施設の負担において、実施していますが、他施設においても実施されているものなのでしょうか。現状を教えてください。
2. 施設においては、毎年結核予防法に基づいて、胸部レントゲン撮影を行っていますが、併設のデイサービスやショートステイ利用者に対しては、ご家族へ胸部レントゲンのおすすめを行う程度です。他の施設ではどこまで管理されているのでしょうか。

A - 59

1. 施設によって異なるとは思いますが、血液・体液に曝露する可能性のある新規採用職員で抗体陰性の方はB型肝炎ワクチンを接種すべきです。施設負担か、個人負担かは、それぞれの事情によると思います。ちなみに当院(回答者の病院)ではワクチン接種の推奨はしていますが、定期的な実施はしておりません。
2. 当院のデイサービス、ショートステイの利用者には胸写は行っていません。回答者が嘱託医を勤める特別養護老人ホームでも、入居者には胸写を年1回実施していますが、デイサービス、ショートステイの利用者には胸写は行っていません。これは、自宅が拠点ですので、かかりつけ医の責任のもとに実施されるべきものではないかと思われます。